



なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

正しく使ってこそ

学校長 山崎 薫

一か月に及んだ分散登校もあと一回ずつとなりました。5日からは学級が全員そろっての学校生活が再開されます。今後も、学校、家庭、そして子どもたち自身が基本的な感染防止に対する取組を継続していく必要性を感じております。引き続きご協力をお願いします。

さて、今回の分散登校を機に、タブレット端末を利用した学習活動の機会が増えました。授業中に巡回すると、子どもたちが実に集中してタブレットを使って自学学習している姿を見ることができました。また、自分の作品を撮った写真や考えをまとめたカードを担当のタブレットに送信し、全員分を教室のモニターに映して意見交換をしている場面もありました。放課後、担任がタブレット画面で家庭学習グループの子が送ってきた課題に採点をしていました。少しずつではありますが、有効に活用しうる環境が整いつつあると思います。このように、先進的な学習形態の可能性が広がったことは嬉しいことですが、心配も有ります。この便利な道具を使うのは人です。人の意志で道具か凶器かに分けられると思います。機能の制限を設けるなどの技術的な対策を執ることは言うまでもありませんが、並行して使う人のモラル教育も大切であると感じます。

敬老の日、印象に残ったニュースが二つありました。一つ目は、山梨県道志村のキャンプ場でちょうど2年前に当時7歳の女の子が行方不明になった件です。お母さまは現在もビラを配り情報提供に奔走されているとのことでした。親御さんの心情を察するといたたまれなくなります。情報提供のためのサイトも設けたそうです。しかし、中には誹謗中傷のメールも届き心を病まれたとのことでした。秘匿性を逆手に取り、無責任に藪の中から棒でつつくような心無い行為です。それをしてしまうか、すべきでないかを判断するのは人の良心です。道具を正しく使い、自他を思い合い、良心の下で適切に行動できるような子どもたちの集団に育つよう全職員で励んでいきたいとこのニュースを見て思いました。タブレットやSNSの使い方もその一環です。二つ目は、コロナ禍で昨年は家族との面会ができなかった特養ホームの話題でした。今年は条件付きながらビニールカーテン越しに面会が可能になったという内容でした。カーテン越しにお年寄りとお孫さんが手のひらを合わせながら会話をしている様子が映し出されました。互いのぬくもりを感じていたようです。「立派になったね。」と声をかけてもらっているお孫さん。お年寄りもお孫さんもとても良い表情でした。直接会えることの貴重さと大切さを感じました。

気づけば前期修了も間もなくです。後期もより良い学びの場となるよう励んで参ります。よろしく申し上げます。



家庭科ミシンボランティアの大房さんよりいただきました。印刷室前の廊下で、給食当番を迎えています。子どもたちも職員も温かな気持ちになれ、癒されています。